

I 日本史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文1～4を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 仏教は6世紀の前半、朝鮮半島からの渡来系の人びとの手によって日本に伝えられたと考えられている。国から国へ公式に伝わったのは百済の（イ）王の時代で、欽明天皇へあてて仏像や教典を贈ってきたのがその始まりとされている。天皇は仏教を受け容れるかどうかの態度を保留し、有力豪族たちに意見を求めた。のちに記録された『日本書紀』によれば、そのころ大臣として新たに力を増し、仏教を受け容れようとする蘇我氏と、受け容れに反対する物部氏らとの間で政治的な対立が起きたとされる。こうした政争の中で勢力を強めた蘇我馬子の命によって、592年に（ロ）天皇が暗殺された。

6世紀末から7世紀初めになると、蘇我氏や王族たちの手によって、仏教は徐々に国内に定着する。蘇我馬子は飛鳥に一族の氏寺として初の本格的伽藍を持つ飛鳥寺（法興寺）を建立し、厩戸王（聖徳太子）はくあや斑鳩寺（法隆寺）を建立したとされる。こうした仏教寺院の建設はそれまでの古墳¹⁾にかわって、豪族たちの権威を新たにあらわすものとなった。仏教を受容したころは中国の（ハ）時代にあたり、この時代の中国文化が百済や高句麗を経由して日本に伝えられ、日本の古墳文化と融合して仏教文化を开花させた。現存する法隆寺²⁾の西院は、1949年に火災に遭い壁画の大部分を焼損したが、（ハ）建築の影響を受けた飛鳥様式を残している。また遣隋使³⁾が派遣され、中国の実情を見聞した彼らが帰国すると、仏教を基礎に天皇を中心とする中央集権制の国家体制⁴⁾をつくりだそうとする動きが強まった。

2. 7世紀後半から8世紀初頭にかけて、仏教による本格的な国家制度の形成期を迎え、それにふさわしい清新で活気にみちた（ニ）文化がおこった。朝廷の保護を受け、官立の大寺院などが建立されるとともに、地方の豪族層も仏教を受け容れ、地方寺院がさかんにつくられた。彫刻や絵画は、初唐文化の影響を色濃く受け、代表的な彫刻では、興福寺仏頭がある。これはもとは大和の（ホ）という寺院にあった薬師三尊像の本尊の頭部と推定される。絵画では、高松塚古墳壁画がある。

奈良の大寺院では、インドや中国で生まれたさまざまな仏教教理の研究が進み、法相、華嚴、律などの（ヘ）と総称される学系が形成された。法相宗の義淵は（ト）や行基、道慈などすぐれた門弟を育成し、華嚴宗の（チ）は東大寺の建立や石山寺の造営に尽力した。当時の僧侶は宗教者であるばかりでなく、最新の中国文明を身につけた一流の知識人でもあったため、（ト）のように聖武天皇に重用され朝廷内で活

躍する僧もあった。また日本への渡航を決意し、失敗を重ね盲目になりながら8世紀半ばに来朝、戒律を伝えた中国僧の鑑真は、東大寺に初めて戒壇を設け聖武太上天皇、光明皇太后、孝謙天皇ら400人に授戒をおこなうなど、僧の戒律と修行を指導する重要な役割をになった。

3. 母親が渡来系氏族の出身で、天皇の権威の強化をはかったく い >天皇は、渡来人の勢力とも関係の深い長岡京に遷都したのち、さらに平安遷都をおこなったが、既存の奈良仏教が政治に介入することを嫌い、平城京の寺院が平安京に移転することを許さなかった。その一方でく い >天皇は、山中で修行をし呪力を持つと称する僧侶たちに鎮護国家や現世利益をもとめるようになった。そのうちの一人最澄は遣唐使に従って入唐し、天台山で戒律を受けた。帰国後、比叡山延暦寺に天台宗を開いて法華経を中心に据え、すべての人が仏になれると説き、それまでの受戒制度に替わる独自の（り）戒壇の創設をめざした。また、四国の山中で修行をしていた空海も、唐の長安で真言密教を学んで帰国、紀伊の高野山に金剛峰寺をひらき、さらにく う >天皇から与えられた京都の教王護国寺（東寺）を中心に真言宗をひろめた。また、仏教はそれまでの日本の在来の信仰とも融合していった。ことに天台・真言両宗の山岳仏教的性格は、日本に成立した呪術的な山岳信仰とも深く結びついた⁶⁾。その一方で神仏習合の動きが強まると、古くから信仰されてきた日本の神々はさまざまな仏が神に化身して日本の地に現れたものであるという（ヌ）説の思想が広がり、神社の境内に神宮寺を建てたり神前で読経がおこなわれたりした。

4. 平安中期の摂関時代には、あいつぐ疫病や飢餓、暴力、戦乱などで社会には不安が高ま⁷⁾っていった。貴族たちは仏教を盛んにしなければ戦乱の世が続くと信じ、積極的に寺院の造営や荘園の寄進につとめた。藤原道長は阿弥陀堂を中心とした大寺で、御堂とも京極御堂とも呼ばれた（ル）を建立し、その子頼通は来世での往生を確かなものにしようと、京都・宇治の平等院に極楽浄土さながらの世界をつくりあげた。平等院の中心をなす鳳凰堂には仏師定朝の作になる阿弥陀如来像が収められた。この像は優美な容姿を特長とし、その後の仏像の模範とされた⁸⁾。

鎌倉時代に入ると仏教も、それまでの祈禱や学問中心のものから、広く庶民をも対象とし、内面的な深まりをめざすものへと変化が始まる。法然は「南無阿弥陀仏」と念仏をとさえれば死後は極楽浄土に往生できるという専修念仏の思想を説いて多層な人びとからの支持を受け、浄土宗の開祖とされた。法然の弟子の親鸞は、師の教えをさらに進⁹⁾

め、自力の行いをすべて捨て、阿弥陀仏の救いを信じることのみが究極の救済をもたらすと絶対他力を説いた。その頃、宋ではきびしい戒律と座禅によって悟りをめざす禅宗が盛んになった。栄西はそれを伝えて禅による護国の必要を説くと、鎌倉幕府の保護を受け、のちに日本の臨済宗の祖と仰がれた。いっぽう権力には近づくことなく山中にこもってひたすら座禅に徹した道元は、越前の奥地に曹洞宗の中心寺院をひらいた。江戸時代に入ると、¹⁰⁾ 儒学の興隆の中、仏教はあまり展開を見せなかったが、17世紀半ばには明僧く え が、禅宗の一派である黄檗宗を伝え、京都・宇治に黄檗山万福寺をひらいた。

A. 文中の空所(イ)～(ル)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<え>にあてはまる適当な語句を、それぞれに対応する a～d から 1 つずつ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | | |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| <あ> | a. 四天王寺 | b. 聖林寺 | c. 大官大寺 | d. 薬師寺 |
| <い> | a. 桓武 | b. 光仁 | c. 平城 | d. 文武 |
| <う> | a. 宇多 | b. 嵯峨 | c. 朱雀 | d. 醍醐 |
| <え> | a. 隠元隆琦 | b. 無学祖元 | c. 夢窓疎石 | d. 蘭溪道隆 |

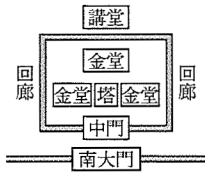
C. 文中の下線部 1)～10)にそれぞれ対応する次の問 1～10に答えよ。

1. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

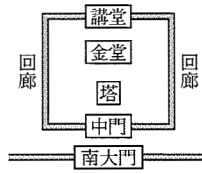
- a. 前期には、円筒埴輪や家形埴輪、盾などの器財埴輪が用いられた
- b. 中期になると、副葬品のなかに鉄製武器・武具の占める割合が高くなった
- c. 後期には、横穴式石室が一般化し、地域によっては彩色あるいは線刻による壁画をもつ装飾古墳もつくられた
- d. 終末期にみられる八角墳と呼ばれる小型古墳は、主に有力農民の墓としてつくられた

2. この寺を含む飛鳥時代の寺の伽藍配置には、大陸伝来の形式を受け継ぐものから、日本独特のものまで幾つかある。日本独特のものとして知られるこの寺の西院の伽藍配置はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

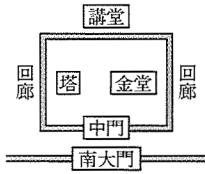
a.



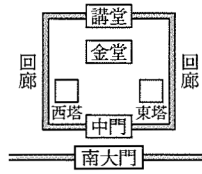
b.



c.



d.



3. これによって隋に渡った人物でないのは誰か。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ

- a. 阿倍仲麻呂 b. 小野妹子 c. 高向玄理 d. 南淵請安

4. このような動きがあった一方で、日本古来の信仰も強く残った。それらの中には現在も残る神社につながるものも少なくない。次の文は、日本古来の信仰にみられる自然神を祀った事例に関する記述である。文中の空所①・②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

福岡県の宗像大社では、玄界灘の孤島 などを神として祀り、奈良県の大神神社では、背後にそびえる を神体として祀った。

- a. ①：沖ノ島 ②：二上山 b. ①：沖ノ島 ②：三輪山
c. ①：志賀島 ②：二上山 d. ①：志賀島 ②：三輪山

5. この人物の遺徳を偲んでつくられた像に唐招提寺鑑真和上像がある。この像を制作する技法は、興福寺阿修羅像などに共通するものであるが、この技法による像を何と呼ぶか。その名をしるせ。

6. このようにして生まれた信仰は、役小角（役行者）を祖師と仰ぎ、山伏にみられるように山岳修行により呪力を体得するという特徴をもつ。奈良県吉野の大峰山や北陸の白山などの山々が修行の舞台となったこの信仰を何と呼ぶか。その名をしるせ。

7. この時代の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで時代順にマークせよ。

- a. 尾張国の郡司や百姓らが、藤原元命の暴政を訴えた
- b. 刀伊（女真族）が沿海州地方から対馬、壱岐に侵攻し、北九州に来襲した
- c. 平等院鳳凰堂が建立された
- d. 藤原北家によって、左大臣源高明が左遷された

8. この像はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

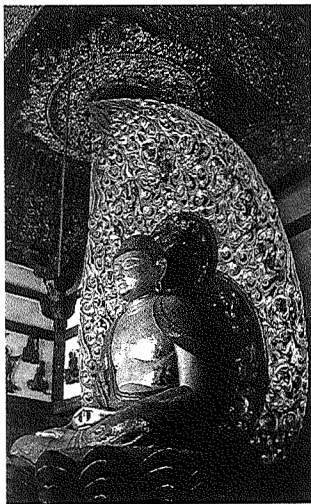
a.



b.



c.



d.



9. この人物の死後、弟子の唯円が正しい師の教えを書き記したとされる書物は何か。その名をしるせ。
10. この人物が重視した、このような修行法を何と呼ぶか。漢字4字でしるせ。

Ⅱ. 次の文1～3を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 私たちの身のまわりの景観は、雨、風、雪、波などの自然からの働きかけによって、たえずその姿を変えている。しかし、雨、風などの自然現象だけが、景観を形づくるわけではない。人間による平野部や山野、海岸などに対する働きかけも、景観を形づくる上で、重要な役割を担ってきた。

江戸時代においては、治水や灌漑技術の発達とともに新田開発が進み、新たな村々が作られた。新田開発は、農民による小規模なものから、幕府などが進める大規模な治水・灌漑工事や干拓をとともなうものまで存在した。町人が新田開発を請け負い、開発主体となる場合もあった。1767年に徳川家治の（イ）となりその後老中となった田沼意次は、大規模な新田開発を積極的に試みるとともに、工藤平助の著作『（ロ）』に啓発されて最上徳内らを北方調査に派遣し、北方の開発などを計画した。

²⁾新田開発によって作られた新しい村々は、古い村々とは異なる性格を有する場合があった。たとえば、江戸時代の村々の多くは林野などの入会地を有し、入会地は肥料などに必要となる産物の採取地として利用された。他方で、新田開発によって作られた村々のなかには、このような入会地をもたない場合があった。それでも肥料の調達が可能であったのは、干鰯や油粕など購入する肥料である（ハ）が普及したからであった。

幕府と諸藩は林業や鉱山業も奨励し、これによって村や町が創出された。鉱山で使われた道具や技術は、治水や灌漑にも転用されていった。このような山野の開発や利用とともに海岸部の開発や利用も進み、これらに基づく景観が江戸時代に形づくられた。

2. 近代以後、国土に対する人間の働きかけはより強まっていった。明治維新政府においても、数々の政策がおこなわれたが、それらの政策を進める上で重要な課題となったのが、財政の安定であった。そこで、政府は1873年に地租改正条例を公布して地租改正に着手し、国家財政の基礎を固めようとした。⁵⁾

こうした財政の安定を図りつつ、政府は殖産興業政策を進めた。なかでも（ニ）省は、軽工業部門の振興を図るとともに、農業・牧畜部門の振興のため駒場農学校などを開設した。同時に政府は、北海道の開発も進めた。開拓を実際に担ったのは、各地から移住してきた開拓と防衛を兼ねた（ホ）兵であった。開拓の進展は、アイヌの人々の狩猟・漁労などの場を狭めていくこととなった。⁶⁾

1870年代後半に始まった激しいインフレーションに対して実施された財政政策の後、⁷⁾1880年代後半には会社設立ブームがおき、日清・日露戦争期に日本は産業革命を迎え、

各地に工場が建設された。第一次世界大戦期には、海運業・造船業は空前の好況となり、造船所が各地に建設された。産業化にともなって、平野部だけでなく海浜部などもその景観を変え始めたのである。その一方で、古河財閥が経営する足尾銅山から流れる鉍毒が（ヘ）川流域を汚染し、住民に大きな被害をもたらす事件も発生した。政府はその対策として、（ヘ）川と利根川の合流点に近い栃木県谷中村を廃村として住民を集団移転させ、遊水池を設置した。産業化は、公害を引き起こして自然や人々の生活を破壊する側面を有していた。

3. 国土の変化という面からみたとき、日中戦争期からアジア・太平洋戦争期にかけての時期と高度経済成長期及びそれ以後の変化は、極めて大きい。

日中戦争の開始後、内閣直属の機関として設置された（ト）によって物資動員計画が作成され軍需品の生産が優先的に進むとともに、総力戦に必要な新たな物資を生産する工場が各地に建設された。アジア・太平洋戦争期に入ると、軍需工場の地方移転や都市部における建物疎開などが進んだ。種々の戦闘行為により、多数の人命が奪われ、人々が長い年月をかけて築き上げてきた生活環境が破壊される事態が、アジア・太平洋諸地域で生じたことも忘れてはならない。

地上戦と空襲・艦砲射撃によるおびただしい被害を受けた沖縄は、サンフランシスコ平和条約に基づく講和後もアメリカの施政権下に置かれ、アメリカ軍の軍事基地化が進んだ。しかし、1950年代後半になると、沖縄では日本への復帰を求める運動や基地反対運動が高揚し、1960年に沖縄県（チ）協議会が結成された。ベトナム戦争の激化を契機に（チ）運動はさらに高まっていき、このような中で佐藤栄作内閣は沖縄返還のための交渉をおこなった。

高度経済成長期には、工業化と都市化が急速に進んだ。交通網の整備も進み、東京オリンピックの開催に合わせて東海道新幹線が開通するとともに、1965年には（リ）高速道路が全線開通した。産業と人口の大都市への集中が進む傾向に対して、政府は1962年に（ヌ）計画を閣議決定しこれを是正しようとしたが、太平洋ベルト地帯への工業の集中はその後も進行した。1972年に田中角栄が「（ル）論（計画）」を掲げて内閣を組織し、工業の地方分散と高速交通網の整備を打ち出した。しかし、これに刺激された土地投機と第一次石油危機による原油価格の高騰とが重なったことで激しいインフレーションが発生し、市民生活は混乱した。この時期、村落部では過疎化が進行した。米の供給過剰などを理由に1970年ころから稲作の生産調整をおこなう（ヲ）政策もとられたため、休耕田が各地で見られるようになった。

「バブル経済」が現出した1980年代後半¹²⁾においては、ゴルフ場建設やその他のリゾート開発など、レジャー施設建設のための山野や海浜の開発が進んだ。その一方で、開発の対象ともなった里山の保全をはかろうとする動きも見られるようになった。東日本大震災における原子力発電所の事故の後、改めて持続可能な社会を考え、人間の自然に対する働きかけを問い直し¹³⁾ようとする動きも強まっている。

A. 文中の空所(イ)～(ヲ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～13)にそれぞれ対応する次の問1～13に答えよ。

1. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 徳川家綱は、利根川から分水する見沼代用水を完成させた
 - b. 徳川吉宗は、下総椿海の干拓事業を開始した
 - c. 松平定信は、江戸湾にそそぐ利根川の流路を変え、銚子にそそぐようにする工事を開始した
 - d. 水野忠邦は、印旛沼の掘割工事による干拓を進めたが、後に工事は中止された
2. この人物とともに北方を調査した近藤重蔵らは、1798年に千島列島最大の島を探查した際に標柱をたてた。その標柱に書かれた文字を漢字7字でしるせ。ただし、日付や人名及びその地位に関するものを除く。
3. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 尾張藩では藩直轄による山林経営をとりやめ、地所を民間に払い下げて材木の商品化を進めた
 - b. 材木産地の山を抱える村には、職人や労働者が百姓として居住する場合があった
 - c. 17世紀後半になると銀の産出量が増大し、主要な輸出品となった
 - d. 別子銅山が大坂の豪商鴻池家によって開かれ、銅の生産量を伸ばした
4. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 九十九里浜では、網子を使用した地引網による鰯漁が盛んにおこなわれた
 - b. 瀬戸内海沿岸では、浜辺に堤防をきづく入浜式塩田が発達した
 - c. 農漁村であった横浜が、幕末に開港場に指定され、港町として開発された
 - d. 幕府は長崎に出島を築造し、平戸にあったイギリス商館を出島に移した

5. この年に起きた出来事に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 大久保利通らが征韓論をとなえたが、挫折した
 - b. 政府は、五節句を祭日として新たに採用した
 - c. 秩禄奉還の法を定めることで、華士族に支給された秩禄を全廃した
 - d. 北条県では、数万人規模の徴兵反対一揆がおきた
6. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 戸籍法はアイヌに適用されなかったため、日本式の氏・名が認められなかった
 - b. 1669年におけるシャクシャインの戦いに勝利して、松前藩の支配から脱した
 - c. 1997年に制定されたアイヌ文化振興法には、アイヌの「先住権」が明記された
 - d. 北海道旧土人保護法によって、アイヌに土地を与え農業に従事させようとした
7. これに関連して、1880年代における松方財政のもとでの政策に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 金本位制を実施することによって、貨幣価値の安定をはかった
 - b. 軍事費を含めて徹底的な緊縮財政を実施するとともに、増税もおこなった
 - c. 国立銀行条例を制定して、兌換紙幣を発行した
 - d. 条件が厳しかった工場払下げ概則を廃止し、官営事業払下げを推進した
8. これに関する次の絵画の①作者と②作品の発表時期の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。



- a. ①：青木繁 ②：明治期
- b. ①：青木繁 ②：大正期
- c. ①：安井曾太郎 ②：明治期
- d. ①：安井曾太郎 ②：大正期

9. この家と姻戚関係にある人物で、日清戦争の講和の際に、伊藤博文とともに日本全権となった人物は誰か。その名をしるせ。
10. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカ軍による硫黄島占領以後、B29爆撃機による本土空襲が始まった
 - b. 1943年には、20歳以上の学生全員を入隊させる学徒出陣がおこなわれた
 - c. 1945年には、本土決戦にそなえて国民義勇隊が組織された
 - d. ハワイ真珠湾を攻撃した同じ日に、日本軍はシンガポールを奇襲占領した
11. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカ施政権下にあった奄美諸島の日本への返還を実現させた
 - b. 環境基本法を制定するとともに、環境庁を設置した
 - c. 首相が、非核三原則の政策をとることを国会で表明した
 - d. 大韓民国の李承晩政権と日韓基本条約を締結し国交を樹立した
12. この年代に起きた次の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 第二次臨時行政調査会の発足
 - b. 日本国有鉄道の民営化実施
 - c. 日本電信電話公社の民営化実施
 - d. 日本労働組合総連合会の結成
13. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 高速増殖炉「もんじゅ」の事故が1995年におきた後に、原子力研究所が設置された
 - b. 1960年代に、日本のエネルギー需給に占める原子力の比率が水力を上回った
 - c. 1999年に、茨城県東海村の核燃料加工工場で臨界事故が発生した
 - d. 新潟県巻町で原子力発電所設置をめぐる住民投票が1996年に実施され、住民の意思で建設を決定した